

## 質問書回答

2020年1月22日

「案件名：バングラデシュ国南北ダッカ市の廃棄物焼却発電導入に係る情報収集・確認調査(QCBS)」  
 (案件番号：19a00784 公示日：2020年1月8日)について、質問の回答は以下のとおりです。

通番	当該頁項目	質問	回答
1	6頁 第1章 企画競争の手続き 8. 契約交渉権者の決定方法 (2)評価方法 1)技術評価	本案件は、「若手育成加点」は適用されませんとありますが、一方で業務管理グループは認めていることから、同グループを構成する場合、若手育成の観点から示されていた年齢の制限については、本案件では対象とならないと理解してよろしいでしょうか？	ご理解のとおりです。
2	13頁 第2章 特記仕様書案 6. 調査方針及び留意事項 (1)現行技術協力プロジェクトにおける「廃棄物発電導入可能性調査」の成果活用及び連携並びに棲み分け	「一方で両調査の棲み分けを図るため本調査ではバ国における PPP の法・制度の整備状況や官側での負担事項等を中心に情報収集・分析を行い、主として「(民間資金を活用した)Build Transfer Own(以下、「BTO」という。)方式」による事業実施の課題及び可能性について検討する。」とあります。一般的には BTO は Build Transfer Operation を指すのですが、本件で言うところの BTO とは一般的に言われている BOO(民間事業者が施設建設、運営管理を行い、施設を所有する)と同義と考えてよろしいでしょうか？	「BTO」につきましては恐縮ながら当方の記載ミスで、ご指摘の通り「Build Transfer Operation」を指しております。なお、バングラデシュ政府側では B00 についても可能性を検討したい意向を持っているとのことが新たに分かりましたので、同箇所及びその後の同様の記載は「主として「(民間資金を活用した) Build Transfer Operation (以下、「BTO」という。)方式及び B00」による事業実施の課題及び可能性について検討する。」に修正します。
3	同上	Pre-F/S が再度実施予定とありますが、具体的なスケジュールおよび仕様(先行調査との違い)をご教示願います。	最終的なスケジュールや内容についてはバングラデシュ政府側との協議次第となりますが、現時点では、スケジュールは 2019 年 12 月から開始し 2020 年度の第 1 四半期中に終了することが

通 番	当該頁項目	質問	回答
			<p>想定されています。</p> <p>また内容に関しては、主として事業性評価をより詳細に検討・調査する内容となります。配布資料に含めました前回の Pre-F/S（2018 年 11 月付報告書）では、主として DBO 方式に係る事業性評価を行いました。今後実施予定の Pre-F/S では、DBO 方式の事業性評価を更に詳細に検討しつつ、BT0 及び B00 の事業性評価、バングラデシュにおける PPP 及び発電事業に関連する法制度・組織や第三国での WtE 事業実施に係る課題の調査、本邦企業へのヒアリング調査及び事業実施に関する制度的・組織的な課題や公共・民間事業者の主な事業リスクについて整理する内容が想定されています。</p> <p>よって今回公示の本調査では上記調査結果を参考・活用しながら、バングラデシュにおける PPP 及び発電事業に関連する法制度・組織や日本・第三国での WtE 事業実施に係る課題の調査についてより詳細に調査を行い、合わせて「企画競争説明書 第 2 章 特記仕様書案」に記載の通り、「他国とバングラデシュの PPP 制度の比較（他国と比較した場合のバングラデシュの PPP 制度の課題の明確化）」や「民間資金を活用した BT0（及び B00）方式で一般廃棄物焼却発電施設を建設・運営・維持管理を行う場合の官（バ国政府）側の費用面も含めた負担事項について明</p>

通 番	当該頁項目	質問	回答
			確化し、同負担事項を実現するために必要な調整・対応事項・アクション及びそれに要する凡その期間について明らかにする」、「事業実施に係る環境社会配慮に係る調査」等を実施することを想定しています。
1/15 回答済			
4	P.21 2. 業務実施上の条件(2) 業務量目途と業務従事者構成案1)業務量の目途	見積額を算出するため、評価対象業務従事者の予定人月数を確認させて頂けないでしょうか。	QCBS方式ですので、本業務を遂行するために最も効果・効率的なM/Mの貼り付けについて検討頂き、プロポーザルにて提案願います。
1/17 回答済			
5	P.18 別紙:最終報告書目次案	見積額を算出するため、最終報告書は全体で何ページを想定しているか、教えて頂けないでしょうか。	現時点では70~80ページ程度の分量を想定しています。
6	P.21 2. 業務実施上の条件(2) 業務量目途と業務従事者構成案1)業務量の目途	調達予定案件情報において、「国内:5.00、現地:9.33M/M」と記載がありましたが、企画競争説明書には業務量の内訳の記載がありません。調達予定案件情報の通り、「国内:5.00、現地:9.33M/M」を想定することで宜しいでしょうか。	QCBS方式ですので、調達予定案件情報を参考情報として、本業務を遂行するために最も効果・効率的なM/Mの貼り付けについて検討頂き、プロポーザルにて提案願います。
7	P.21 脚注	現地調査は第一次現地調査と第二次現地調査の2回で業務従事者が4名いるので、渡航回数は合計8回との理解で良いか、見積額を算出するために確認させて頂けないでしょうか。 また、第1次国内作業の開始時期は「2020年2月下旬より」とありますが、評価結果の通知は「2020年3月13日	現地調査の渡航回数につきましては、バングラデシュの安全対策措置を鑑み、1回の渡航当たりの現地滞在日数を最大「14日」と想定し、第一・二次現地調査合わせて各業務従事者に最大5回ずつ、(業務従事者が4名の想定ですので)計「20回」渡航いただくことを想定しております。

通番	当該頁項目	質問	回答
		<p>(金)までに」とあり、時期が前後しているかと思えます。上記と一部重複しますが、想定されている国内作業及び現地作業の時期と渡航回数をご教授頂ければと思います。</p>	<p>また、ご指摘いただいた脚注部分に関しては修正前の記載が残っており、大変失礼いたしました。正しくは下記の通りとなります。</p> <p>「2020年<u>3月下旬</u>より第1次国内作業を開始し、<u>同4月中旬から</u>2021年2月下旬に第1次現地調査、同3月上旬から下旬に第2次国内作業、同4月上旬に第2次現地作業、同4月中旬に第3次国内作業を行い、最終報告書を2021年5月に提出する工程を予定している。」</p> <p>上述の安全対策措置を踏まえて、本業務を遂行するために最も効果・効率的な作業時期、渡航回数について検討頂き、プロポーザルにて提案願います。</p>
1/20 回答済			
8	-	<p>現地傭人の雇用を検討しておりますが、調査団員が現地にいない期間の雇用についても問題ありませんでしょうか。</p> <p>また、予定価格算出のため、現地傭人雇用の有無、有の場合は雇用期間について、貴機構の想定を教えてくださいませんか</p>	<p>調査団員が現地にいない期間の雇用については問題ございません。本業務を遂行するために最も効果・効率的な現地傭人雇用については検討頂き、プロポーザルにて提案願います。</p>

以上